



# 週)報

2014～2015年度)) ) R I 会長)ゲイリー C . K .ホアン)  
R I のテーマ) 『ロータリーに輝きを』)  
地区のテーマ)))「行動) ACTION」) ガバナー)坂本元彦)

国際ロータリー  
第2570地区

# 狭山中央ロータリークラブ

〔例会場〕狭山東武サロン〒350-1305) 狭山市入間川 3-6-14) TEL)04-2954-2511  
〔事務所〕〒350-1305) 狭山市入間川 1 -24-48) TEL)04-2952-2277) FAX)04-2952-2366  
<http://www1.s-cat.ne.jp/schuohrc/E> - mail:schuohrc@p1.s-cat.ne.jp  
会長)稲見) 淳) 会長エレクト)江原伸夫))副会長)坂本松男) 幹事)江原伸夫)

〔第3グループ内の例会日〕 狭山(金)、新狭山(月)、入間(木)、入間南(火)、飯能(水)、日高(火)、狭山中央(火)  
所沢(火)、新所沢(火)、所沢西(火)、所沢東(木)、所沢中央(月)

## 第1037回(4月28日)例会の記録

点 鐘 稲見 淳会長  
合 唱 我らの生業  
第2副SAA 柴田君 清水君  
卓話講師 高麗神社宮司 高麗文康様

### 出席報告

会員数	出席者数	出席率	前回修正
40名	32名	78.38%	88.89%

### 会長の時間

稲見会長



世界のエリートが大切に  
できるビジネスマンは作法  
が違う。世界最強の投資銀行  
「ゴールドマン・サックス」世界  
最高のコンサルティング「マ  
ッキンゼー・アンド・カンパ  
ニー」そして世界最上級のビジネ  
ススクール「ハーバード」この  
二社1校で学んだ戸塚隆将さん  
世界のエリート  
が大切に  
する基本がある。その共通の作法は能力  
や経験に関係なく人間生活を送る上でも大切なこと。それらはすべてちょっとしたコツと心がけて  
誰でも真似できるものばかりで実践している人が多い。いわゆる万国共通の普遍的な作法が基本。  
それらのポイントを確認して習慣にすることで明日からの仕事に自信が湧きさらに人間として成長  
できると言っている。

まず身なり、「スーツとシャツは個性より清潔感  
が命」ビジネスマンとしての基本は第一に「身  
なりを整える」これは「高価なものを身につける」  
という意味ではない。ゴールドマンやマッキンゼ  
ーの社員は皆一様に白いシャツ(または無地の薄  
いブルー)にダークスーツという。まるで制服の  
ような驚くほど没個性な服装が特徴、彼が外見に  
重視しているのは「清潔感」決して個性を強調す  
るものではない。欧米では一般的に「Yシャツ」  
は下着と同等。当然毎日替え、アイロンのかかっ  
た清潔なものを身につけるのがマナーなのです。

### 「折り目の通ったズボンと磨かれた靴」

名刺交換の際にチラリと目に入るくたびれた靴・  
折り目が消えかかりヒザの飛び出たズボン、想像  
するだけでも「清潔感」とはほど遠い印象を受け  
る。オンオフにかかわらず意外に目につくのが「足  
元」です。汚れた靴、踵の減った靴くたびれて型  
くずれした靴はそれだけで相手に「できない」印  
象を与えてしまう。男の靴は流行に左右されない  
ので多少値が張っても良いものを何足か揃えるの  
が良い。グルグル回していくと最低でも一足10  
年もつ。

靴と同様ズボンの折り目にも注意したい。折り  
目のピシッと通ったズボンとピカピカの靴ができ  
る男の「身だしなみ」です。

### 「10分前の精神で心に余裕を」

「時間を守る」これは人が社会生活を送る上で最  
も大切な万国共通のルールです。戸塚さんは「1  
0分前の精神」が重要であると言っています。約  
束の場所へ10分前に到着すれば相手がどんな人  
で何回会ったか、また前はどんなことを話した  
かなどあれこれ思い巡らす時間が生まれる。10  
分はミーティング前の準備タイムであり、さら  
にもっと効果的な理由は心の余裕が生まれる事  
です。

### 「メールは“即”返信する」

仕事の評価が高い人間ほどメールの返信スピー  
ドが速い。

日本の大企業でも役員に上り詰める人ほどメール  
コミュニケーションに長けている。これは世界共  
通です。

レスポンスのタイミングは自分の名刺と一緒に考  
えた方がいい。相手にとってはどんな人間なのか  
を想像できる情報のひとつ。返信が遅れるほど相  
手は不安になり、自分に対する評価も下がる。

### 頼まれた仕事は“5分”限定ですぐ

どんな職場でも仕事を遂行する中で、「ちょっと悪  
い、 をお願い」と、進行中の仕事とはべつ

の内容の作業を頼まれることもあるはず。そんなとき、「わかりました」と答えたものの、後回しにしたことはないだろうか。

「上司に呼ばれ、仕事を引き受けたなら、忘れないうちにすぐに取り掛かることが効率化のカギ。自分の席に戻ってすぐに、先に進行中の仕事に取りかかってしまうと、今指示された内容が頭からこぼれ落ちてしまう。指示された瞬間から席に着くまでは、その内容が頭の中を占めているもの。だから、席に戻ったら進行中の仕事をいったんストップして、今指示された仕事に“5分”だけ集中してみると、その後がスムーズになります」

5分間でやるべき事は、上司の指示を再整理し、進行のための道筋をつくること。早めに着手すべきことはすぐに取り掛かることが重要だという。

「第三者が関わる場合には、早めにアポイント調整に取り掛かることも必要。5分間集中することで、疑問点も生まれるはず。こういった場合は、すぐに上司に質問し、確認を」

指示された直後であれば、どんな簡単な質問も可能だ。これが後になればなるほど、初歩的な質問がしにくくなる。さらに「なぜもっと早く確認しない!」と、上司からの評価が下がることにもなりかねない。

「5分間だけ、すぐに取り掛かるクセをつけ、さらに締め切りを1日前倒しにする習慣を身につけると、仕事の効率とスピードが劇的に速まる」

ギリギリで作業するほど「できない人間」と評価される。まして、締め切りに間に合わないなど言語道断。即、アウトとなる。ビジネスの世界では、マルチタスクをこなす人物が求められるのである。

### 「名前は“3回”口に出して覚える」

「名前を覚えて呼び合うことは、人間関係づくりの根っこ。ここが強くなければいいコミュニケーションは築けません。自分自身を相手の記憶に残したいなら、まず自分から相手の名を記憶するのが先決です」

「人は自分に興味を持ってくれる相手に自然と好意を抱くもの。初対面の場合でも、最初、途中、最後と、最低3回は相手の名前を口に出し、簡単な質問を投げかけることで興味を示し、結果、関係が深まっていく」

### 「ハウレンソウ」は結論から伝えよ

「準備をし、率先して報告に行けばポイントを整理し論理立てて伝えられる。後で報告しようと準備はしていても、不意に上司に呼ばれて、説明を求められることもある。また、用意がないままエレベーターでぱったり会って状況を聞かれれば、慌てて、しどろもどろになってしまうはず。自分のペースで喋れるような態勢を事前に準備し、自ら行うことが大切」

## 幹事報告

江原幹事

(定例理事会)次の件が審議・承認されました。

- (1) 5・6月のプログラム承認
- (2) 米山奨学生カウンセラー変更について
  1. (公財)埼玉県・アイバンク協会より 第26回総会のご案内
  2. 回覧物 学友会ニュース(189号)

### 《)会員3分間スピーチ)》

)田中隆行(会員)



3分間スピーチ、何を話そうかと思っておりましたが、色々整理をしておりましたら古い資料が出てきましたので、それに基づいて現在の東京都がいつ都になったのかということ、戦前の話になるのですが、お話をさせていただきます。

私は1935年(昭和10年)に東京の下町、本所というところで生を受けました。現在は墨田区ということになっております。そして1940年(昭和15年)戦前のことですが、日本の国内において一大イベント、皇紀、紀元2600年という非常に大きな行事がありました。その時私はちょうど5歳でありましたが、本所の下町の電車の100m位手前に住んでおりましたので、母親に連れられて電車道に行き、花電車という花を沢山飾った珍しい当時の市電が、非常に印象に残っております。そして夜は提灯行列と言って、市民全員が提灯を持ち、行列ですっと銀座の方から下町の方に歩いたということも、薄々記憶に残っております。

1941年(昭和16年)尋常小学校から国民学校と学校が変わりまして、4月に第1年生として入学致しました。子供心に何か嬉しいような、大変に思ったような、そんな記憶が残っております。そして小学校3年生まで東京にいましたが、その時に遠足で上野の動物園や明治神宮、当時としてみれば凄い田舎なのですが、吉祥寺の井之頭公園に、今はJRとなっておりますが、下町から御茶ノ水を経由して遠足に行った記憶がございます。ものすごく何も無い所だということ、子供心に覚えております。その頃は下町と山の手では差があったといいますが、山の手の方は非常に静かで、下町、浅草が東京では一番賑やかでした。今は新宿や渋谷、六本木などといわれておりますが、当時はそのような時代でございました。

1943年(昭和18年)東京府と東京市が統合されて、東京都と名称が変わりました。今大阪でも都という話がされておりますが、そのような時代でございました。申し遅れましたが、昭和16年に戦争が始まり、本当に大変でございました。そしてだんだん軍国主義で緊迫してまいりまして、

子供でも非常に厳しいということをなんとなく感じておりました。

1944年に学童疎開が始まりましたが、幸いにして私の父親が長野県の出身だったものですから、松本市という所に疎開を致しました。新宿から石炭の機関車へのり、甲府で3~4時間の休憩を取り石炭を積みこんで、また出発ということをしておりました。そして松本に着き、その時に住んだところが文化村と言いまして、当時著名人が住んでいた大きな家を母と数人で借りたのですが、今まで東京の下町で割と賑やかだったものが、疎開した途端にガスもない、水道もない、音もない、夜になるとまっくらになってしまう所で、大変な所にきてしまったと今でもリアルに記憶に残っております。

この資料がなぜ私の手元にあるかと言いますと、昭和20年3月10日の東京大空襲で父と一緒に家も燃えたのですが、疎開先に母がこのような資料を持って行ったため残っておりました。当時はこのように殺伐とした時代でございました。何しろ新宿、渋谷とは本当に田舎だったのです。私の記憶では当時は車などない時代でしたので、今下町はさびれておりますが、このような時代があったということが、現状の東京都でございませう。まずはパート1ということで、いずれ機会がありましたら、非常に面白いパート2を少しお話をさせて頂きたいと思っております。

## 「外来卓話」・・・・・・・・

### 《講師紹介》 小島美恵子会員

所沢東ロータリークラブの現会長、肥沼様からのご紹介で、本日の卓話の実現致しております。高麗神社様は、先ほど副会長もおっしゃっていましたが、1300年の歴史があります。本日の卓話を頂く高麗文康様は60代目の宮司様となられるそうです。宜しくお願い致します。

### 高麗神社宮司) ) 高麗文康様)



皆様こんにちは、私の名前は高麗という姓でございまして、さらに私が勤めております、いわゆる給料の貰い所、職場は高麗神社という神社でございませう。私の今日の演題は「高麗郡」というお話をさせて頂きたいと思っております。

「続日本記」がありますが、こちらは大和朝廷が797年に編纂をした歴史書の第2番目となります。第1弾は「日本書紀」もしくは「日本記」と呼ばれるものでございまして、その続きでございませうので「続日本記」と言われます。その巻第七には、「靈龜二年五月辛卯 以 駿河 甲斐 相模 上総 下総 常陸 下野 七国 高麗人千七百九十九人 遷于 武蔵国 置 高麗郡 焉」と書いてあります。高麗郡の初筆はまさにこの記事でありまして、これは大和朝廷が作ったものですから、大和朝廷がはっきりと高麗郡の建郡を記述したということで、こんなに凄いことはない私は勝手に思っており、皆様にもそのように思ってもらえれば嬉しいと思っております。

高麗郡とはどこにあったのかと言いますと、高麗郡遺跡と周辺遺跡とあり、ここに王神・拾石遺跡や堀ノ内遺跡等、色々遺跡の名前が書かれておりますが、これが日高市と飯能市に集中しております。これが高麗郡の初期の遺跡であると言えるもので、これを見ますと、高麗郡とは日高市と飯能市にまたがって置かれたものであるということになるのです。

高麗郡の初期と言いますのは716年の頃、考古学上の発掘の様々な集積のデータ等の成果から、日高市や飯能市から出てくる遺跡の中には8世紀の始めの遺跡が多いということが、確実に言えるということでありました。つまり埋蔵文化財と大和朝廷が編纂した文献上の証拠から、高麗郡の建郡が8世紀の始まりであるということが一致する形で出てくるという意味では、大変珍しい土地柄であるということです。このような土地は日本全国探してもなかなかありません。

これが高麗郡の初期の形でございませう。そしてその高麗郡は明治29年(1896年)に廃止をされるということです。当時は日清戦争が終わった直後でございまして、全国的に平成の大合併のような行政の合併が始まる時期なのです。小さい郡が大きい軍に併合されていきますが、そう致しますと高麗郡とはどちらかという範囲の狭い郡でありましたので、最終的には入間郡に入っていくというものでございませう。ちなみに入間郡も大変古い郡でございませう。かつては恐らく「入間」ではなく「入間」と言っていたのだと思いますが、この入間郡は高麗郡よりもさらに古い郡であるということは、間違いありません。

では高麗とは一体何なのかというお話でございませう。高麗という言い方、この字を書いて「こま」と読むことは、日本ではあまり一般的ではありません。狭山に古くからお住まいの方は、日高のこ

とをよくご存知の方も多いと思いますので、「高麗」と読む方はたくさんいらっしゃると思います。ではいったいなぜ「高麗」と言うのかといえますと、これにも大変古い歴史がございます。先ほどご紹介した「続日本記」の中にも「高麗郡」と出てきますが、「高麗郡」の高麗、そしてそこにやってきた人たちが「高麗人」であるということなのです、その国の事を指すわけで、つまり「高麗人」とは高麗という国の人らしいということは、なんとなく推測がつくところがございます。

「高麗」が指すのは「高句麗」だということで、「高句麗」という国は紀元前 38 年に生まれまして、紀元後 668 年に滅亡致します。「高句麗」という国が「高麗」という文言の始まりであるということでありました。ではいったいなぜ、「高麗」という名称が埼玉県の日高市の中に沢山あるのか、そして「高麗郡」というものがなぜ建ったのかということなのですが、なぜ「高麗人」という人たちは「高句麗」から「日本」にやって来たのかということでもあります。

先ほどお話しした通り「高句麗」という国は 668 年に滅亡致します。滅亡をさせた主なる国は中国にあった「唐」という国で、日本でも「遣唐使」というものを送っておりますので有名ですが、言ってみれば世界の文化を集積したような大帝国でございます。この「唐」という国と南にある「新羅」という国が最終的には「高句麗」を滅ぼしていくということになります、それが 668 年でありました。それよりも 5 年前、663 年には日本は唐の水軍と真正面から戦っています。大和軍が外部と戦争をした日本側のはっきりとした記述というのは、これが始まりです。勿論神功皇后の三韓征伐というものもありますが、これはあまり詳しい記述がないものですから、非常に詳しい記述として明らかなものは、唐の水軍と戦った「白村江の戦い」という戦いが最初であります。唐の水軍はとても大きな船を持っておりました。それに対して日本側はまだまだまとまりない軍隊であり、規模的にも小さい船でありました。しかし日本の武将たちは「百濟」という国と同盟関係を結んでおりましたので、「百濟」が一旦滅びた後、「百濟」の領地内にいた昔の「百濟」の家来たちを支援するために軍隊を出すのです。当時は天智天皇がまだ即位される前のお話でございますが、天智天皇が指揮をふるって、日本の水軍を朝鮮半島に送っていきます。その時、まとまりに欠けていたため、それぞれ個別に突貫攻撃をしているわけです。すると唐の水軍は非常に長けておりましたので、日本の水軍を迎え撃って壊滅をさせてしまったということであり日本書紀の記述の中では、壮絶な戦いを当時の大和軍はしたということでした。勿論船は壊れたと思いますが、それでも残った船

に乗って日本の将兵たちは帰ってきます。しかしたくさん日本兵が亡くなってしまったために、スペースが空くわけです。すると同盟国として一緒に戦った旧「百濟」の旧臣たちが、その船に乗り込んで日本にやってくることになります。そうして当時は「百濟」の人たちがたくさん日本にいて、その「百濟」の人たちが後に日本で創られる最初の都「藤原京」の建設や、その後に来上る「平城京」の建設、あるいは日本書紀の朝鮮半島の記述というものに大変大きな力を発揮していくと言われております。その「百濟」の復興運動が潰えた 5 年後に「高句麗」が滅びるということになりました。

何故このお話をしたかと言いますと、大和朝廷が作った最初の歴史書「日本書紀」は、720 年に編纂されたものです。天智天皇 5 年というのは 666 年でありまして、白村江の戦いから 3 年後、高句麗が滅びる 2 年前の出来事でありました。高句麗から遣いが来たということです。実は高句麗からはこれを前後して計 3 回、遣いが来ております。最初の使者は 666 年の正月、そして 2 番目の使者がこの記事にあるところの 666 年、天智天皇 5 年の 10 月、そして最後が、高句麗が滅びる 2 カ月前の 668 年 7 月です。高句麗は何故立て続けに日本に向けて使者を出したのか、これはもう一つしかないと思います。明らかに高句麗は日本に対して救援を求めたのだということだと思います。朝鮮半島に動乱が起きると日本は無縁ではないということは、昔も今も同じであります。この頃、「百濟」という長く続いた国が亡び、そして「高句麗」も風前の灯であるという時に、最終的に高句麗は、勿論他にも中央アジアの国々に使者を派遣しておりますけれども、救援をお願いする一つの道筋として日本にも使者を派遣しております。そしてこの土地にとって重要なことは、その中に、後に高麗郡の最初の長官であり、そして亡くなった後に高麗神社の祭神として祀られる「若光」という人物、後の「高麗王若光」がいたということでありました。この時、もし仮に「高麗王若光」がこの派遣をされてくる使者の一員に選ばれていなければ、私はここにはいないということでもあります。いずれに致しましても、高句麗が末期に日本に向けて派遣をした使者の中に、こうした人物がいたということでもあります。

「続日本記」の中にあります大宝三年の記事でありまして、これは西暦に直しますと 703 年でございます。「従五位下 高麗若光賜 王姓」とありますが、666 年の渡来から致しますと 37 年経っております。37 年後の若光の姿がこのようななったということです。「従五位下」という位は大和朝廷の貴族という位であります。五位以上を貴族、三位以上を公卿と言います。実際に身分というのは下の方までありますので、五位というのは一つの区切りとなるのです。つまり若光は貴族として遇されていた、そしてさらに 703 年の時点では「王」と

いう姓を頂いたということです。

姓は氏族の性格を表すものです。日本の中で「王」の姓を朝廷から賜った氏族は2つしかありません。一つは「百済王」、百済の王族に与えられた王、もう一つはこの「高麗王」であります。つまりこの「高麗王」という姓が与えられた若光という人物は、高句麗の王族であったと考えられているのが、この記事から読み取れます。そしてその13年後に若光という方が高麗郡の長官となって、最初にご覧頂いた高麗郡建郡の記事になっていくという流れでございます。

渡来人たちの運命は様々だと思えますが、こうして日本にやってきた渡来人たちはそれなりに大和朝廷に遇されながら、様々な所で活躍をしていくということになります。

問題はなぜ大和朝廷は武蔵の国に高麗郡を置いたのかということです。高麗王若光が首長となり、駿河、甲斐、相模、上総・下総、常陸、下野の各地に高麗人たちは最低でも1799名、恐らくもっ



とたくさんいたと思えますが、それぞれの場所で村を営んでいた方たちをもう一度、改めて武蔵の国の中

の一角に移したということなのです。1800名近い人たちを移すということは、今では恐らく出来ないと思えます。その当時も大変大きな事業だったはずですが、なぜそのようなことをしたのかというと、この高麗郡の作られた飯能・日高地域とは、高麗郡が建郡される前は未開地でありました。東国というのは、当時は未開地が多く、人間郡という大変広大な土地がありましたので、この土地は広大な土地の中に何人かの支配者がおりました。しかしどうしてもそれは技術的にも、先業的にもそこまで手をつけられないという状況の土地があったのですが、その中の一つが、まさに飯能・日高地域です、その未開地に高麗人たちは入植をしたわけです。突然新規の方たちがきますと、大概旧住民の方たちはびっくりするのが世の常であります。1300年前の武蔵の人間郡の地域は、そのような形跡がありません。むしろ高麗郡の建郡を積極的に支援したような動きがございます。これは恐らく人間郡という広大な地域を未開地のままにしておく危うさを、周りの人たちも十分わかっていたからだろうと思えます。つまり高麗郡の建郡というものは、決して高麗人だけの力ではなく、周辺の、主として人間郡、現在比企と言われている地域ですが、そこら辺の人たちの支援をもって行われたものであったということがわかります。

高麗郡地域とは、1300年前に高麗人たちが亡国

を体験し、そして海を渡って日本に流れてきた方たちが様々な苦勞の末に辿り着いた未開の地を、最後にもう一度苦勞をして開拓した土地ということでもあります。つまり高麗郡の建郡とは、当地域にとっては言い過ぎかもしれませんが、ある種の開拓の歴史の始まりだと思います。そうした意味から高麗郡建郡1300年を一つの仮説としてお祝いしようという機運が生まれてきました。

現在様々なイベントが行われております。例えば日高市や飯能市では、日本で言えば流鏑馬なのですが、日本の流鏑馬と違うところは、弓が非常に短い所です。日本の弓の半分くらいの長さしかありません。



もともと大陸ではこれくらい短い弓を使っておりました。何故かと言いますと、馬上で速射を致しますので、その為には長い弓だと扱いにくいのです。日本の方が長い弓を扱っておりますが、日本の弓は特殊です。大陸・モンゴル等で元々使われていた弓は短弓が主流で、それを示すかのように、朝鮮半島の平壤、かつての高句麗の都にある高句麗の古墳壁画の中には、5世紀の始めの古墳ですが、日本流で言う流鏑馬の壁画が出てきます。この写真は、この土地で改めて再現をしようという一つの動きでございます。かつて高句麗の人たちが持っていた文化を、このような形で現在に甦らせながら、新しい文化を作っていくという動きでございます。

女性が綺麗な衣装を着て踊っている写真がございますが、これも高句麗の古墳壁画の中にある衣装を再現し、踊りは少し違ってもかもしれませんが、現在流にアレンジをして踊っております。さらにその下には古墳壁画にある衣装を再現し、それでパレードをしようという動きでございます。来年5月21日、22日は、日高市で高麗郡建郡1300年の式典が開かれます。不思議なことに日高市が高麗郡1300年のお祝いをするということです。私としては嬉しい事なのですが、少しユニークな取り組みかと思えます。

にじのパレードとは5月21日に行われます。行われるところは日高市であります。我々はもともこの高麗郡の地域を一つの地域として、地域づくりをしようとしています。そしてこのにじのパレードでは、かつて高麗郡の初期の頃にやってきた1799名の方に敬意を表して、1799人のパレードを目指しております。しかし1799人のパレードとは少し難しいのです。例えば京都の時代祭、これも大体1000人弱位です。マラソン大会を開くと大体2000人位集まるそうですが、普通のパレードですと1400人位が精一杯なのです。そのため1799名というのは日本的にもとても珍しい取り組みです。日高の中だけで完結出来ないとい

いうことを考えますと、今日お見えの方の中にご興味がある等という方は、是非来年5月21日に参加をして頂ければと思います。また歴史のシンポジウムやフォーラムも毎年開催しております。今日は6月14日のフォーラムのチラシは持ってまいりました。

こうした取り組みをしながら、日高市という行政の範囲にとどまらず、かつて高麗郡であった地域、そして高麗郡の建郡に協力した、つまり埼玉県西部地域を巻き込んだ形で広域の連携と地域づくりをしていきたいということが、現在社団法人となりました「高麗1300」の活動目的にもなっております。歴史だけではない、現在にも通じる地域づくりにしていきたいと思っておりますので、是非皆様方のご協力とご理解を賜われればと思っております。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

## ニコニコボックス



稲見君 高麗神社宮司、高麗文康様ようこそおいでいただきました。今日はよろしく願い致します。3分間スピーチの田中隆行会員お話し済みです。

江原君 高麗神社宮司、高麗文康様本日はお忙しい中ようこそおいで下さいました。卓話の時間を楽しみにしておりました。何卒よろしく願い申し上げます。田中隆行様、本日の3分間スピーチよろしく願い致します。

坂本君 高麗神社宮司、高麗文康様卓話よろしく願い致します。3分間スピーチの田中隆行会員よろしく願い致します。

柴田君 高麗神社の宮司様、お話を楽しみにしております。

2014～2015年度 ニコニコ累計額	2,517,000円
------------------------	------------

次の例会

第2副SAA 高田君 高須賀君

5月19日(火) 12:30～13:30

パスト会長卓話 若松泰誼パスト会長